

光市医師会報

昭和57年1月発行

No. 112



松

藤村 朴先生

光市医師会

新年の御挨拶

会員の皆様 明けましてお目出度うございます。

皆様 御健勝に無事御越年、新しい年を迎え、それぞれ心を新にして、希望と夢と決意に燃えておられることと存じます。

御自愛専一、会員の皆様と御家族の御健康と、各医療機関の地域に密着した信頼と敬愛を案ぜられる御発展を祈ってやみません。

毎年激動の年と申されますが、昭和56年度も内外共に情報の氾濫と激しく揺れ動いた年と云えるでしょう。医療の面におきましても、行革の先取りとも云える診療報酬改定は会員の大きな不満を残しつつ年を越し、福祉切捨ての声の高い老人保健法も新年の重要な課題として、種々の方面に深刻

医師会長 大野 宗二

な影響と波及をおよぼすことになると思います。

診療報酬の再改定の問題、医療法、医療制度の問題も必ず提起論議を呼ぶこととなるでしょう。行革による医療への波及も、診療締めつけの様相を帯びつつ迫る傾向にあると思います。本年こそ正に多事な年となるのではないのでしょうか。

本年は日医、県医、郡市医師会の役員改選の年であります。若さに溢れた新役員の誕生を期待し、地域医療、包括医療、救急医療、プライマリケアを中心とする医療システムの問題と積極的に対応出来ることを希うものであります。

皆様の御健康を切に祈ってやみません。

医師会月間行事

◎定例理事会

12月8日(火) 7.30PM

光市医師会館

○報告事項

1. 第10回自主郡市医師会長・副会長会議 於 長門市 12月5日

a. 地域包括医療についても、県医、郡市医師会の受けとめ方、組織的体制も一応見通しが出来たので、今年で打ち切りとする

b. 社会保険レセプトに関する提案

c. 医療保険改正に対する認識について

d. 地域住民に対してどのような医療教育をしているか

e. 休日の救急医療当番医制度について

f. 夜間の救急医療

殆どの郡市が特別な体制をとっている

g. 端末機の稼働状況

h. 医療用産業廃棄物の処理について

i. 医療協議会の設置について

j. 三才児検診状況 報酬の内定等について

- k. 病理解剖についての各都市の対応
 l. 保険センターの設立に対する対応の状況、現在の保険センターの実情
 m. 看護婦の託児所の問題
 n. 各都市医師会の税務対策、特に専従者控除について
 o. 看護婦の卒後教育について
2. 昭和57年度要望事項についての説明
福本副会長
 3. 昭和56年度都市医師会連絡事務費について
 4. 障害者（児）認定必携 回覧
 5. 麻酔科医標榜について
 6. 昭和56年度救急医療案と費用について
 7. 休日の届出について
 8. 光医師会3・4半期決算報告、救急医療の検討会の開催について（竹中理事）
 9. 昭和55年度ソフトボール大会費用についての説明（守友理事）
 10. 昭和56年度バレーボール大会収支についての説明（守友理事）
 11. 安達氏賞与の件
 12. 忘年会の打合せ
 13. 事務職員採用の件、浜本正延氏採用と決定、出務12月15日よりとする。3月までは仮契約とする。仕事の内容等打合せ。
 14. 1月12日定例理事会の予定
 15. 1月26日（火）臨時総会の予定

◎忘年会

12月19日 土曜日 午後7時30分から徳山市クレジットビルで、中華料理店「敦煌

」の豪華な中華料理を囲んで賑やかに忘年会を開催、出席者32名と事務局員2名、幹事長は 守友先生、御苦労様でした。

12月度緑友会

12月13日、風も強いし寒いのに、もの好きかも知れないと思います。12月のゴルフ決して楽なものではありませんが、健康のためでしょうか、又はお付き合いでしょうか、本当に好きなのでしょうか。結果は下記の通り、ホホーと声が出るのはinの竹中先生位です。御立派、見事優勝の値打ち充分です。夜は昼間欠席の方々もまじえて島田市のリヨンで忘年会を開催、夜遅くまでカラオケ大会のようでした。

氏名	Out	in	Gross	Hd	Net	Vank
守田	45	42	87	10	77	2位
富恵	50	52	102	22	80	4位
竹中	53	42	95	22	73	優勝
大野	53	48	101	20	81	5位
高島	57	59	116	30	86	BB
伊藤	51	55	106	28	78	3位
森本	60	54	114	18	96	8位
諏訪	51	52	103	18	85	6位

新事務職員決まる

12月15日より浜本正延氏が三谷武太郎氏退職後空席となっていた事務職員として決まり、医師会の各種事務や検査物の搬送等についていただくことになりました。大変有能な方とお見受けしています。会員皆様からもいろいろ御利用いただき医師会の大事な役目を期待しています。勤務時間は9時より5時までとしています。自宅は光井紺谷浴 TELは72-0131です。どうかよろしく願い申し上げます。

濡れ衣

とみえさとし

診療が終って、K君を見舞いにと車を走らせる。買物に出掛けた家内と、徳山駅で待合せるのに遅くれては大変と、ブレザーを羽織って、飛び出した次第。

家内とK君の病室へ。30分余り、駄弁っての帰えり際、エレベーターの中で、後に立って居た家内が「あなた、背中に変なものが付いていますよ」。「口紅じゃないか知ら」。明るい電燈の下まで引張られて見ると、まさしく、口紅らしい。「まあ、いやらしい」。それからが大変である。

車の中で「忘年会々場」「クラブ松本」「ホープ」と、梯子をした所を、あれこれ思い出すが、何処も、女の子が側に居たが……。何処で付いたのだろうか？。家内に説明するが、納得しそうにもない。「まあ、カッターでなく、背中なので勘弁してあげる」と、おっしゃっている。「K先生に見られたら大変な所だった。スエードだから消ゴムで、落ちるか知ら」とクリーニング代の心配をしている。

遅く帰えって、さて夕飯、一杯飲んでいられる際中、大学生の娘から、「明日帰える」との電話である。さあ、大変。電話をかけ直して、親父の背中の中口紅の報告である。娘に「あんたが帰える迄、拭かないで、置いておく」と電話代そっち除けで、しゃべっている。親父のお守りが如何に大変であるかと、得々としゃべりまくっている。嗚乎……。

黒いブレザーを着て行けば良かったと思

ったものの、後の祭りである。グレイのブレザーの肩の後に、くっきりと赤いマークが付いている。

「女房、妬く程、亭主もてもせず」と云うのに、仲々納得せず、未だにブレザーをぶらさげて、母娘で眺めている。今度は、年末ぎりぎりに帰省する息子にまで見せるのだと……。

老眼鏡がフィットせず弱っている昨今である。歯も入れ歯で駄目、「マラ」も駄目最後の目もかすんでいるのに、今更、何をか云わんやである。

誰かに、忘年会の夜のアリバイを証明、如何に女の子にもてなかったかを、釈明して貰いたいものであるが、悪友達は、これを幸いとばかり、「私は、別行動で、彼は単独行動を取りました」と、嘘を云うに決っている。うっかり、アリバイの証言も頼めず、ブレザーの赤いマークを、うらめしげに眺めている次第である。

あとがき

表紙の絵はとてつもなく大きなもので、高さが2メートルあまり、横が5メートル近い大作です。松は濃緑ですが、バックはオレンジ色に近く、又幹と輪郭のコントラストも実に上品に仕上がっています。能舞台用スクリーンとして医謡会などにもお使いになっておられます。お陰でおめでたい新年号の表紙となりました。(伊藤)

発行所	光市医師会
	TEL 0833 72-2234
発行者	大野宗二
編集者	会報編集委員会
	光市御崎町
印刷所	中村印刷株式会社